

すが、企業努力により本事業が発展されることを望みます。

○病院事業

本事業会計は、医業収益の全額を業務委託先に委託金また9月から指定管理者制度を導入したことに伴う交付金としていくことから、他の費用分と経営健全化交付金が資金不足になることは避けられず、そのため平成18年度決算では1億5千万を一般会計から繰入れたものです。現行の指定管理者として契約上ではこのような決算となることは止むを得ないものと思われまます。

今後も地域医療の核として「地域に信頼される、かかりつけ病院」の構築に務められ、各種健診、人間ドック等の活動を積極的に行いながら、本事業会計の経営の安定、向上に努力されるよう期待するものです。

平成18年度
水道事業会計決算賛成討論

柿崎直治

平成18年度水道事業会計決算に対して賛成の討論をいたします。

水道事業会計の推移を見ますと、平成10年度決算時点では約2億円に上る大きな赤字を計上しておりましたが、11年と12年にかけての2回の料金改正と職員数の削減などの経営合理化を積極的に進めた結果、平成11年度純利益55万円、12年5千5百万円、13年度5千万円、14年度5千3百万円、15年度4千6百万円と利益を計上し、15年度にはそれまでの累計欠損金もすべて解消され、15年度以降も16年2千770万円、17年度324万円、18年度240万円と着実に純利益を計上し、安定した経営であることを大いに評価します。

また、平成10年度末に23億7千万円ほどあった

企業債も、18年度には18億8千500万円に圧縮され、着実に償還計画が遂行されていることも大きく評価します。そのほか、資本的収支に関わる建設改良工事も16年の大雪災害で崩壊した万年橋架設工事を始めとした上水道関係8件、簡易水道関係10件と、当初予算通り事業が完了していることも評価します。

以前から指摘されてきました簡易水道合併という経営的に不利な条件の中で確実に純利益を計上してきたことは、着実な計画性と効率性を持って業務が遂行されてきた証であり、水道班の皆さんの日頃の努力のたまものと認める次第です。

水道事業の今後の課題として有収水量の減少、それに伴い給水収益の増加が見込めないなど、不

安定な要素も確かにありますが、人間の生活にとって水は命の源であり、水道事業は最も基礎的な住民へのサービス事業であります。

それゆえ、ともすれば採算性を度外視する傾向もありますが、独立採算制を基にした事業であることは変わりありません。現在湯沢町の水道基本料金は10立方当たり1千500円で南魚沼市の2千415円と比べると、ほぼ半額の安い料金です。水道班の皆さんには今後とも配水管の新設、石綿管更新など安定した美味しい水の提供のための施設整備投資を計画的に行い、**なおかつ安価な現料金体制を維持しながら、更に最少の経費で最大の効果を得るべき事業努力をされることを切に望んで、18年度湯沢町水道事業会計決算の賛成討論といたします。**

議会活動日誌

- ◆6月
 - 6日/12日/第3回定例会(会期7日間)
 - 7日/マグナウエルカムパーティー(カルチャー)
 - 10日/町ポンプ操作法競技会
 - 14日/マグナフェアウエルカムパーティー(カルチャー)
 - 18日/第3回広報委員会
 - 20日/三俣地域振興促進策要望会(新潟)
 - 22日/三俣地域振興促進策要望会(東京)
 - 23日/南魚沼福祉会20周年記念式典(南魚沼市)
 - 25日/第4回広報委員会
 - 26日/第6回議員全員協議会
 - ◆7月
 - 1日/第5回広報委員会
 - 3日/杉並区民主党議員団視察来町
 - 6日/高齢者運動会(カルチャー)
 - 10日/町村議会議員研修会(新潟)
 - 20日/第6回産業建設常任委員会
 - ◆8月
 - 3日/加賀市視察来町
 - 6日/埼玉県町村議会議長会
 - 9日/湯沢塩沢道路整備促進期成同盟会総会
 - ◆9月
 - 22日/県特別豪雪地帯市町村議会協議会中央要望会(東京)
 - 28日/第7回総務文教常任委員会
 - 29日/県町村議会議長中央要望会(東京)
 - 29・30日/議会広報研修会(東京)
 - 31日/戦没者慰霊祭(宝珠庵)
 - ◆9月
 - 4日/第3回厚生福祉常任委員会
 - 7日/第6回議会運営委員会
- 第6回広報委員会